

3. 平成25～27年度入学者用 (1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群の略号は次の通りです。 E…英語、D…ドイツ語、F…フランス語、C…中国語、R…ロシア語、I…イタリア語、S…スペイン語、K…朝鮮語、A…アラビア語、日…日本語		現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備考
				外国語科目群	現代社会適応科目群				
総合 人間	平成25 ～27	特に定めなし (総合人間学部便覧を参照すること)	1 2 単位以上	1 2 単位以上	現代社会適応科目群 特に定めなし (総合人間学部便覧を参照すること)	拡大科目群 単位互換等科目は卒業に必要な単位として認定しない (総合人間学部便覧を参照すること)	外国語科目群のみ単位数の定めあり	※外国語科目群の履修方法については、「全学共通科目履修の手引き」に掲載されている学部の指示事項及び「Ⅱ・5. 外国語の履修について」の内容に従って、科目を選択すること。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級、「経済・経営日本語(上級)Ⅰ・Ⅱ」(令和2年度より廃止)から4単位まで修得を認める。そのうち、上級科目を少なくとも2単位含めること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができ、 ※外国人留学生の母語の科目は、外国語科目に含まれない。	
				EDFCRISKAのうちから1 2 単位以上 ただし、1 外国語から6 単位以上、その他の1 または2 外国語から6 単位以上	現代社会適応科目群 特に定めなし (総合人間学部便覧を参照すること)	外国語科目群 単位互換等科目は卒業に必要な単位として認定しない (総合人間学部便覧を参照すること)	外国語科目群のみ単位数の定めあり	※外国語科目群でEを履修する場合、8 単位のうち2 単位については、 は、「経済英語A・B」いずれかか「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1 単位ずつ)を修得すること。「文学部英語A・B」単位未修得者は、(2) 各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で、E以外の外国語を履修する場合、初級から4 単元以上、中・上級から4 単位以上修得すること。なお、スペイン語Ⅰ(会話)は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しない。 ※アラビア語は平成26年度以降入学者のみ卒業に必要な単位として認定する。	
文	平成26 ～27	上記必要単位数を含め、人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から自由に計3 6 単位以上修得すること	8 単位以上	1 6 単位以上	現代社会適応科目群 人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から自由に計3 6 単位以上(ただし、人文・社会科学系科目群から8 単位、自然・応用科学系科目群から6 単位以上修得すること)	拡大科目群	5 2 単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8 単位のうち2 単位については、 は、「経済英語A・B」いずれかか「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1 単位ずつ)を修得すること。「文学部英語A・B」単位未修得者は、(2) 各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で、E以外の外国語を履修する場合、初級から4 単元以上、中・上級から4 単位以上修得すること。なお、スペイン語Ⅰ(会話)は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しない。 ※アラビア語は平成26年度以降入学者のみ卒業に必要な単位として認定する。	
			2 0 単位以上	1 6 単位以上	現代社会適応科目群 人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、拡大科目群(単位互換等科目は除く)の科目で代替可能 ただし、拡大科目群の科目による代替は4 単位を上限とし、そのうちスポーツ実習科目による代替は2 単位を上限とする。	拡大科目群	4 8 単位以上	※E 8 単位のうち2 単位については、「法学政治学英語Ⅰ・Ⅱ」各1 単位を修得すること。「法学政治学英語Ⅰ・Ⅱ」単位未修得者は、(2) 各学部の指示事項参照。	
法	平成27	法学部基礎演習を修得した場合は、人文・社会科学系科目群の単位として扱う。	1 0 単位以上	1 6 単位以上	現代社会適応科目群 人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、拡大科目群(単位互換等科目は除く)の科目で代替可能 ただし、拡大科目群の科目による代替は4 単位を上限とし、そのうちスポーツ実習科目による代替は2 単位を上限とする。	拡大科目群	4 0 単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8 単位のうち2 単位については、 は、「経済英語A・B」いずれかか「文学部英語A」・「文学部英語B」単位未修得者は、(2) 各学部の指示事項参照。 ※スペイン語Ⅰ(会話)は、卒業単位として認めない。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語(上級)、「経済・経営日本語(上級)Ⅰ・Ⅱ」(令和2年度より廃止)から8 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができ、	
			8 単位以上	1 6 単位以上	現代社会適応科目群 人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、拡大科目群(単位互換等科目は除く)の科目で代替可能 ただし、拡大科目群の科目による代替は4 単位を上限とし、そのうちスポーツ実習科目による代替は2 単位を上限とする。	拡大科目群	4 0 単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8 単位のうち2 単位については、 は、「経済英語A・B」いずれかか「文学部英語A」・「文学部英語B」単位未修得者は、(2) 各学部の指示事項参照。 ※スペイン語Ⅰ(会話)は、卒業単位として認めない。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語(上級)、「経済・経営日本語(上級)Ⅰ・Ⅱ」(令和2年度より廃止)から8 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができ、	
経	平成26	上記必要単位数を含め、人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から自由に計3 6 単位以上修得すること	8 単位以上	1 6 単位以上	現代社会適応科目群 人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、拡大科目群(単位互換等科目は除く)の科目で代替可能 ただし、拡大科目群の科目による代替は4 単位を上限とし、そのうちスポーツ実習科目による代替は2 単位を上限とする。	拡大科目群	4 0 単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8 単位のうち2 単位については、 は、「経済英語A・B」いずれかか「文学部英語A」・「文学部英語B」単位未修得者は、(2) 各学部の指示事項参照。 ※スペイン語Ⅰ(会話)は、卒業単位として認めない。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語(上級)、「経済・経営日本語(上級)Ⅰ・Ⅱ」(令和2年度より廃止)から8 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができ、	
			1 0 単位以上	1 6 単位以上	現代社会適応科目群 人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、拡大科目群(単位互換等科目は除く)の科目で代替可能 ただし、拡大科目群の科目による代替は4 単位を上限とし、そのうちスポーツ実習科目による代替は2 単位を上限とする。	拡大科目群	4 0 単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8 単位のうち2 単位については、 は、「経済英語A・B」いずれかか「文学部英語A」・「文学部英語B」単位未修得者は、(2) 各学部の指示事項参照。 ※スペイン語Ⅰ(会話)は、卒業単位として認めない。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語(上級)、「経済・経営日本語(上級)Ⅰ・Ⅱ」(令和2年度より廃止)から8 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができ、	

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備	考	
理	平成26 ~27 共通	専門基礎科目（理学部が指定した【全学共通科目】と【理学部科目】）								
		1.2単位以上2.0単位まで	自然・応用科学系科目群および現代社会適応科目群、拡大科目群のうち、理学部が指定した科目を専門基礎科目とする。専門基礎科目については、2.4単位以上3.8単位まで卒業に必要な単位として認める。	1.0単位以上1.2単位まで	4単位まで	4.6単位以上 7.4単位まで	※京都大学国際教育プログラム (KUNEP) (平成29年度より廃止) は、自然・応用科学系科目群以外の科目を履修した場合に、それぞれの群で卒業に必要な単位として認める。 ※外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級から4単位以上6単位まで修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。			
	平成26	拡大科目群の少人数教育科目 (ポケット・ゼミ) をふくめてよい。 科目群の6つの系 (哲学・思想系、歴史・文明系、芸術・言語文化系、行動科学系、地域・文化系、社会科学系) から3つ以上の異なる系の科目を修得すること。	1.0単位以上1.3単位まで Eは6単位必修とし、7単位まで。 それ以外の外国語 (DFC RISKAD) から同一の外国語4単位、この4単位を修得した上にさらに2単位まで (英語以外のどの外国語でもよい) 合計4単位以上6単位まで。	Eは6単位必修とし、7単位まで。 それ以外の外国語 (DFC RISKAD) から同一の外国語4単位、この4単位を修得した上にさらに2単位まで (英語以外のどの外国語でもよい) 合計4単位以上6単位まで。	現代社会適応科目群 (少人数教育科目 (ポケット・ゼミ)、単位互換科目を除く) から合計4単位まで。ただし、専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。	4.6単位以上 7.5単位まで				
工 〈地球工〉 【国際コース以外】	平成25 ~27	人文・社会科学系科目群 (1.2単位以上)、現代社会適応科目群 (情報基礎 [工学部]、情報基礎 [工学部] を除く)、拡大科目群 (単位互換科目を除く) から1.6単位以上2.0単位まで	自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群 (情報基礎 [工学部]、情報基礎 [工学部] のみ) で指定する科目から3.1単位以上 (※1)	E7単位以上、およびDFC RISKADのうちから1か国語4単位以上 (※2)	現代社会適応科目群 (情報基礎 [工学部]、情報基礎 [工学部] のみ) で指定する科目から3.1単位以上 (※1)	人文・社会科学系科目群 (1.2単位以上)、現代社会適応科目群 (情報基礎 [工学部]、情報基礎 [工学部] を除く)、拡大科目群 (単位互換科目を除く) から1.6単位以上2.0単位まで	5.8単位以上	(※1) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で指定する科目については、(2) 各学部の指示事項の概を認めること。 (※2) E7単位のうち1単位については、科学英語 (地球) 等1単位を含むこと。 外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級から4単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。		
		人文・社会科学系科目群および拡大科目群 (1.2単位以上)、現代社会適応科目群 (1.2単位以上)、現代社会適応科目群 (情報基礎 [工学部]、情報基礎 [工学部] を除く) から1.6単位以上2.0単位まで	自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群 (情報基礎 [工学部]、情報基礎 [工学部] のみ) で指定する科目から3.1単位以上 (※1)	1.2単位以上1.6単位まで	日6単位以上、Scientific English及びAdvanced Scientific Englishから6単位以上 日本人学生は、日の代わりDFC RISKADのうちから6単位以上	人文・社会科学系科目群 (1.2単位以上)、現代社会適応科目群 (1.2単位以上)、現代社会適応科目群 (情報基礎 [工学部]、情報基礎 [工学部] を除く) から1.6単位以上2.0単位まで	5.9単位以上	※英語で提供される科目のみ単位認定される。ただし、スポーツ実習科目及び第2外国語は卒業に必要な単位として認定する。 ※スポーツ実習科目については平成26,27年度入学者のみ認める。 (※1) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で指定する科目については、(2) 各学部の指示事項の概を認めること。		

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群 (3単位推奨)	拡大科目群	合計単位数	備考
工 〈物理工〉	平成25 ～27	1.6単位	3.0単位以上	1.0単位 E6単位、およびDFCR I SKA日のうちから1か 国語4単位(※2)	情報系科目のうち情報基礎 〔工学部〕、情報基礎演習 〔工学部〕を3単位まで履 修することを特に推奨	現代社会適応科目群(情報 基礎〔工学部〕、情報基礎 演習〔工学部〕を除く) 拡大科目群(単位互換等科 目を除く)から4単位まで 卒業単位として認定する (いずれの群もKUINEP科目 を平成29年度より廃止)を除 く	5.6単位以上 ※	(※1) 自然・応用科学系科目群で指定する科目については、 (2) の一覽を確認すること。 (※2) 外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本 語上級から4単位以上を修得すること。なお、日本語を選択できる のは外国人留学生のみ。 ※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群と学 部科目と合わせて9.8単位修得すること。
		1.6単位	3.0単位以上、4.0単位まで	1.0単位以上1.4単位まで	3単位以上7単位まで			
工 〈電気 電子〉	平成26 ～27	1.6単位	2.8単位以上	1.0単位～1.1単位 E6～7単位〔科学英語 (創成化学) (工業基礎化 学) (化学工学) は平成2 7年度より工学部科目(専 門科目) 2単位へ変更する が、取り扱いは全学共通科 目/外国語科目群1単位とす る。〕、およびDFCRI SKA日のうちから1か国 語4単位以上(※2)	情報基礎〔工学部〕、情報 基礎演習〔工学部〕を含む ことが望ましい。上限は6 単位とする。	情報基礎〔工学部〕、情報 基礎演習〔工学部〕を除く 国際交流科目・単位互換等 科目は認めない。	5.9単位以上 7.7単位まで	(※1) 自然・応用科学系科目群で指定する科目については、 (2) 各学部の指示事項の一覽を確認すること。 (※2) 英語 I・II 単位未修得者は(2) 学部の指示事項を確認す ること。 外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級か ら4単位以上を修得すること。なお、日本語を選択できるのは外国 人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINEP) 科目(平成29年度より廃止) は、 人文・社会科学系科目群のみ卒業単位として認定する。 ※地球工学科国際コースの科目は、人文・社会科学系科目群、外国 語科目群では卒業単位として認定しない。ただし、外国人留学生に ついては認めることもあるので、学科長に相談すること。 ※外国語科目群のRIKAについては、開講時間が学科専門科目と 異なる場合があるので履修を推奨しない。
		1.6単位	2.8単位以上	1.0単位	選択(3単位まで)	選択(6単位まで)		
工 〈理工 化学〉 ※令和5年度 以前の学科名称 は工業化学科	平成26	1.2単位以上	2.8単位以上	1.0単位 E6単位、およびDFCR I SKA日のうちから1か 国語4単位(※2)	情報基礎〔工学部〕・情報 基礎演習〔工学部〕のみ卒 業に必要な単位として認め る	スポーツ実習科目、少人数 教育科目(ボケット・セ ミ)のみ卒業に必要な単位 として認める	6.1単位以上	(※1) 自然・応用科学系科目群で指定する科目については、 (2) 各学部の指示事項の一覽を確認すること。 (※2) 外国語科目群のEでは、総合人間学部以外が提供する他学 部他学科提供の英語科目は認めない。 外国語科目群で日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級か ら4単位以上を修得すること。なお、日本語を選択できるのは外国 人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINEP) 科目(平成29年度より廃止) は、 1科目2単位まで、卒業に必要な単位数に含める。 ※工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認 定しない。
		1.2単位以上	2.8単位以上	1.0単位	2.2単位以上	情報系科目から2単位以上 を履修すること(計算機科 学コースは指定する科目の 必修2単位を含むこと) (※1) 情報系科目は最大8単位ま で算入。 人文・社会科学系科目群 (1.2単位以上) 現代社 会適応科目群、拡大科目群 (ただし、単位互換等科目 を除く) から合計1.7単位 以上2.2単位まで履修する こと	人文・社会科学系科目群 (1.2単位以上)、現代社 会適応科目群(情報系科目 目から2単位以上)、拡大科 目群(ただし、単位互換等 科目を除く) から合計1.7 単位以上2.2単位まで履修 すること	5.5単位以上
工 〈情報〉	平成25	1.2単位以上	2.8単位以上	1.0単位 E6単位、およびDFCR I SKA日のうちから1か 国語4単位、計1.0単位(※ 2)	上記の必要単位数を満たし たうえで、人文・社会科学 系科目群、現代社会適応科 目群(情報系科目から2単 位以上)、拡大科目群(た だし、単位互換等科目を除 く) から合計1.7単位以上 2.2単位まで履修すること			
		1.2単位以上	2.8単位以上	1.0単位	E6単位、およびDFCR I SKA日のうちから1か 国語4単位、計1.0単位(※ 2)			
工 〈電気 電子〉	平成26 ～27	1.6単位	2.8単位以上	1.0単位 E6単位、およびDFCR I SKA日のうちから1か 国語4単位、計1.0単位(※ 2)	情報系科目から2単位以上 を履修すること(計算機科 学コースは指定する科目の 必修2単位を含むこと) (※1) 情報系科目は最大8単位ま で算入。 人文・社会科学系科目群 (1.2単位以上) 現代社 会適応科目群、拡大科目群 (ただし、単位互換等科目 を除く) から合計1.7単位 以上2.2単位まで履修する こと			
		1.6単位	2.8単位以上	1.0単位	2.2単位以上	情報系科目から2単位以上 を履修すること(計算機科 学コースは指定する科目の 必修2単位を含むこと) (※1) 情報系科目は最大8単位ま で算入。 人文・社会科学系科目群 (1.2単位以上) 現代社 会適応科目群、拡大科目群 (ただし、単位互換等科目 を除く) から合計1.7単位 以上2.2単位まで履修する こと		

(2) 各学部の指示事項

全学共通科目の履修については、以下の各学部の指示によるほか、各学部の便覧等を必ず参照してください。

総合人間学部

1. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1学期につき20コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H (総合人間学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。なお、総合人間学部では全学共通科目の履修に関して、外国語科目群以外は修得すべき必要な単位数の定めはありません。詳細は「総合人間学部便覧」を参照してください。

(2) 外国語科目群について

外国語科目群の履修方法については、本冊子「Ⅱ. 5. 外国語の履修について」(p.53～)の内容に従って、科目を選択してください。

(3) 現代社会適応科目群情報系科目における履修推奨科目について

総合人間学部では、当学部生に対し、情報セキュリティの重要性を鑑みて、下表の〔講義科目〕及び〔実習・演習科目〕②を履修することを推奨します。〔実習・演習科目〕の①「コンピュータリテラシー実習」は廃止されましたので、これから履修する場合は②「情報基礎演習 [全学向]」を履修してください。なお、これまでに「情報の科学 (理系向)」あるいは「情報の科学 (全学向)」を履修している場合は〔講義科目〕の「情報基礎 [全学向]」を「情報の科学 (理系向)」あるいは「情報の科学 (全学向)」に読み替えてください。「情報ネットワーク (理系向)」あるいは「情報ネットワーク (全学向)」を履修している場合は〔講義科目〕の「情報ネットワーク」を「情報ネットワーク (理系向)」あるいは「情報ネットワーク (全学向)」に読み替えてください。同様にこれまでに「コンピュータリテラシー実習」あるいは「コンピュータリテラシー演習」を履修している場合は〔実習・演習科目〕の「情報基礎演習 [全学向]」を「コンピュータリテラシー実習」あるいは「コンピュータリテラシー演習」に読み替えてください。

なお、履修時期については、できる限り1・2回生のうちに履修してください。

講義科目	情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。
実習・演習科目	①コンピュータリテラシー実習 (平成26年度より廃止) ②情報基礎演習 [全学向]	平成26年度から履修する場合は、②の演習科目を履修してください。同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。

(4) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目 (平成29年度より廃止) について

1科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定します。

文学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『L (文学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学系科目群について

「日本古代・中世政治文化論」（平成 28 年度より廃止）、「日本古代・中世の歴史社会」（平成 28 年度より廃止）、「日本史Ⅰ・Ⅱ」、「中国歴史風土論」（令和 6 年度不開講）、「中国歴史地理論」（令和 6 年度不開講）、「西洋史Ⅰ・Ⅱ」、「人文地理学各論Ⅰ～Ⅲ」、「地域地理学各論Ⅰ～Ⅲ」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目（自由選択）として認定されます。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て全学共通科目人文・社会科学系科目群に変更することができます。手続き期間は 4 月及び 10 月のみです。締切日等詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲示します。

(3) 外国語科目群について

- ① 英語を履修する場合、8 単位のうち 2 単位については、「文学部英語 A」・「文学部英語 B」（各 1 単位ずつ）（平成 29 年度より廃止）を修得しなければなりません。なお、「文学部英語 A」・「文学部英語 B」は 2 科目 2 単位のみ卒業に必要な単位として認定され、原則として各自の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければなりません。修得後に他系の専修に所属した場合、あらたに履修しなおす必要はありません。「文学部英語 A」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）A-E1」を、「文学部英語 B」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）B-E1」を履修し、単位を修得してください。ただし、平成 27 年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

また、英語Ⅱは平成 30 年度をもって廃止となりました。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティングリスニング A・B を履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

- ② 英語以外の外国語を履修する場合、初級から 4 単位以上、中・上級から 4 単位以上を修得してください（「フランス語Ⅰ（8H コース）」は、16 単位のうち 4 単位のみ、「ドイツ語Ⅰ（6H コース）」は、12 単位のうち 4 単位のみ、「ドイツ語Ⅱ（6H コース）」、「フランス語Ⅱ（6H コース）」は、12 単位のうち 4 単位のみ卒業に必要な単位として認めます）。なお、スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。
- ③ 文学部の学部科目として開講している【フランス語中級、上級】を全学共通科目「フランス語ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB」の外国語科目群として履修する場合は、全学共通科目で履修登録（事前申込（外国語予備登録、先着順申込）が必要）してください。学部科目として履修する場合は、文学部での履修登録等の手続となりますので注意してください。
- ④ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

法学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J（法学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学系科目群

法学部基礎演習は、法学部が法学部 1 回生に提供する教養科目です（後期に開講、2 単位）。ただし、卒業に必要な単位数を計算する上では、全学共通科目の人文・社会科学系科目群の科目と同じに扱われます。

(3) 外国語科目群

- ① 英語 8 単位のうち 2 単位については、「法学政治学英語Ⅰ・Ⅱ」（各 1 単位）（平成 29 年度より廃止）の 2 単位で修得しなければなりません。「法学政治学英語Ⅰ」の単位未修得者は「外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1」を、「法学政治学英語Ⅱ」の単位未修得者は「外国文献講読（法・英）Ⅱ-E1」を履修し、単位を修得してください。ただし、平成 27 年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

また、英語Ⅱは平成 30 年度をもって廃止となりました。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティングリスニング A・B を履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場

合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

- ② 「フランス語 I (8H コース)」の修得単位数については、16 単位のうち 6 単位のみ卒業に必要な単位として認めるので注意してください。
- ③ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

経済学部

1. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1 学期につき 15 コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。なお、通年科目については、前期・後期の両方とも履修登録コマ数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 自然・応用科学系科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記①の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部指定の数学講義②を履修することを強く推奨します。

- ① 数学基礎（経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す）

数学基礎 A・B [文系] (8 単位) を履修してください。

- ② 理系用数学講義（理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す）

微分積分学（講義・演義）A・B (6 単位)、線形代数学（講義・演義）A・B (6 単位) を履修してください。

なお、2 回生以上は担当教員の許可を得て履修登録してください。

- ②を履修した学生は、引き続き、微分積分学統論 I・II (4 単位)、線形代数学統論 (2 単位) も履修することを推奨します。

(2) 外国語科目群について

- ① 英語は、「英語 I」(平成 28 年度より廃止) 又は「英語 II」(平成 31 年度より廃止) から 6 単位、「経済英語 A・B」(平成 29 年度より廃止) いずれか 2 単位を含む計 8 単位を修得してください。「英語 I・II」の単位未修得者は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修し、単位を修得してください。「経済英語 A・B」の単位未修得者は、「外国文献研究 (経・英) A・B-E1」を履修し、単位を修得してください。いずれも、単位修得した場合は、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

- ② ドイツ語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉又は〈上級〉から 4 単位の計 8 単位を修得してください。「ドイツ語 I (6H コース)」は、12 単位のうち 6 単位のみ卒業に必要な単位として認めますが、〈中級〉又は〈上級〉から 4 単位の修得が必要です。

- ③ フランス語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉又は〈上級〉から 4 単位の計 8 単位を修得してください。「フランス語 I (8H コース)」は、16 単位のうち 6 単位のみ卒業に必要な単位として認めますが、〈中級〉又は〈上級〉から 4 単位の修得が必要です。

- ④ スペイン語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉から 4 単位の計 8 単位を修得してください。

なお、スペイン語 I (会話) は、卒業に必要な単位に算入しません。

- ⑤ 中国語・ロシア語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語は、〈初級〉から 4 単位、〈中級〉から 4 単位の計 8 単位を修得してください。

- ⑥ 日本語は、外国人留学生を対象とし、日本語 (上級)、「経済・経営日本語 (上級) I・II」(令和 2 年度より廃止) から計 8 単位を修得してください。

- ⑦ 初修外国語の履修において、「初修外国語初級免除」の場合は、卒業に必要な単位数を中級以上で修得してください。

なお、初級免除を受けた場合は、必ず経済学部教務掛へ申し出てください。

理学部

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 指示事項

(1) 人文・社会科学系科目群について

人文・社会科学科目群で開講される「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」の各分野の科目を履修し、単位を修得した場合、それぞれ「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・言語文化」、「行動科学」、「地域・文化」、「社会科学」の各系の科目と読み替えます。

平成 29 年度から留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目を履修し、単位を修得しても、単位修得が必要な 3 つ以上の異なる系の 1 つとしても、卒業に必要な単位としても認めません。

(2) 外国語科目群について

① 理学部において卒業までに必要とされる外国語科目群は「平成 25～27 年度入学者用 (1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.254) の表のとおりとします。

② 理学部では、英語について、外国語科目の英語として読み替えられる科目全てを、卒業要件を満たす科目として認めています。

ただし、平成 28 年度まで開講されていた「科学英語 (理学)」と「Frontiers and Paradoxes of Science」および平成 29 年度から開講されている「科学コミュニケーション (理・英) -E3」は同一科目と見なし、いずれか一つしか卒業単位として認めないので、注意してください。(複数科目の単位を修得した場合は、後に修得した方は増加単位となり卒業単位としては認められません。)

また、英語Ⅱは平成 30 年度をもって廃止となりました。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティングリスニング A・B を履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

(3) 本年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2024 年度 教科の手引き』の「Ⅲ. 系登録および卒業のための履修要件」のページを参照してください。

工学部<地球工学科>

1. 履修登録単位数の上限について

平成 26、27 年度入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

「各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」の一覧表に示された各科目群に関する指示事項を下記に示します。ただし、その表に示された科目群は、平成 27 年度までの旧分類であり、平成 28 年度からは新しい科目群名称となっており、科目によっては所属する分類が大きく変わっている場合がありますので、注意して下さい。各授業科目の群分類は、p.252 にその新旧の対応が記載されています。

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学系科目群、現代社会適用科目群、拡大科目群について

これらの科目群から人文・社会科学科目群 12 単位以上を含んで合計 16 単位以上 20 単位までを履修する必要があります。ただし、情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部] は含められません。

国際コースの学生は人文・社会科学科目群および拡大科目群から 12 単位以上を含んで合計 16 単位以上 20 単位までを履修する必要があります。ただし、情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部] は含められません。

各授業科目がこれらの旧科目群分類のどれに属するかは p.252 で確認して下さい。

(3) 自然・応用科学系科目群について

平成 28 年度より「環境生物・化学」は、学部専門科目として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい (ただし、修得単位は全学共通科目の自然・応用科学系科目群として認定されます)。

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

この表は平成 28 年度以降の新しい科目名で示しています。

科目名	単 位	必 選 択 等 土 木 ・ 資 源 ・ 環 境 ・ 国 際	科目名	単 位	必 選 択 等 土 木 ・ 資 源 ・ 環 境 ・ 国 際
自然現象と数学	2	◎	基礎有機化学Ⅱ	2	○

微分積分学（講義・演義）A	3	◎	◎	基礎化学実験	2	○	—
微分積分学（講義・演義）B	3	◎	◎	図学 A	2	○	—
線形代数学（講義・演義）A	3	◎	◎	図学 B	2	○	—
線形代数学（講義・演義）B	3	◎	◎	微分積分学統論 I	2	◎	◎
基礎物理化学（熱力学）	2	◎	—	微分積分学統論 II	2	◎	◎
基礎物理化学（量子論）	2	◎	—	線形代数学統論	2	○	○
物理学基礎論 A	2	◎	◎	振動・波動論	2	○	○
物理学基礎論 B	2	◎	◎	無機化学入門 A	2	○	—
熱力学	2	○	○	無機化学入門 B	2	○	—
力学統論	2	○	○	生物自然史 I ※3	2	○	—
物理学実験	2	○	—	生化学入門	2	○	—
基礎地球科学 A ※1	2	○	○	細胞と分子の基礎生物学	2	○	—
基礎地球科学 B ※2	2	○	—	地質工学入門	2	◎	◎
基礎有機化学 I	2	○	—				

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

○ 印は、履修することを勧める科目

— 印は、卒業に必要な単位として認定しない科目

※1 「基礎地球科学 A（地球システムの歴史と変遷）」及び「基礎地球科学 A（現在の地球の活動と私たち）」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

※2 「基礎地球科学 B（地球システムと環境）」及び「基礎地球科学 B（地球誕生から現在まで）」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

※3 令和 6 年度より廃止。

(4) 外国語科目群（英語）における「科学英語（地球）」（平成 29 年度より廃止）について

国際コース以外の学生には、英語は 7 単位（「科学英語（地球）」等を含む）の修得が定められています。平成 28 年度より「科学英語（地球）」は、学部専門科目（クラス指定）として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい（ただし、修得単位は、全学共通科目の外国語科目群（英語）として認定されます）。

また、英語 II は平成 30 年度をもって廃止となりました。平成 27 年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニング A・B を履修することはできません。卒業に必要な英語 I・II の単位を充足していない場合は、「全・英」の表示がある E1・E3 科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。

(5) 現代社会適用科目群における「情報基礎（工学部）」「情報基礎演習（工学部）」について

平成 28 年度からの新分類で情報学科目群に属する上記 2 科目は、(3) に示した「学科が指定した自然・応用科学系科目群の科目」と見なします。すなわち、それらとの合計で修得単位数 31 単位以上が卒業要件となっています。また、現代社会適用科目群の単位にはなりません。なお、「情報基礎演習（工学部）」は、平成 28 年度より 2 単位科目として開講されますが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定されます。

(6) 国際コースについて

国際コースは、英語で提供される同コース向けの全学共通科目（(3)～(5)については、授業一覧の備考欄に [International Course] と記載のあるもの）のみ単位認定します。指定科目については、学部の履修要覧を参照してください。

また、国際コースの「Scientific English II (Presentation & Discussion)」の未修得者が「Scientific English II-E3 (Presentation & Discussion)」を、「Advanced Scientific English (Debate)」の未修得者が「Advanced Scientific English-E3 (Debate)」を、それぞれ履修し、単位を修得した場合、外国語科目群の「Scientific English II (Presentation & Discussion)」、「Advanced Scientific English (Debate)」の単位として認定します。ただし、各科目の単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認めません。

工学部＜物理工学科＞

1. 履修登録単位数の上限について

平成 26、27 年度入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録して

ください。

(2) 自然・応用科学系科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2		微分積分学統論Ⅰ	2	
微分積分学（講義・演義）A	3		微分積分学統論Ⅱ	2	
微分積分学（講義・演義）B	3		電磁気学統論	2	
線形代数学（講義・演義）A	3		確率論基礎	2	
線形代数学（講義・演義）B	3		数理統計	2	
物理学基礎論A	2	コースにより 異なる	無機化学入門A	2	コースにより 異なる
物理学基礎論B	2		無機化学入門B	2	
物理学実験	2		生物・生命科学入門	2	
基礎物理化学（熱力学）	2		振動・波動論	2	
基礎物理化学（量子論）	2		統計物理学	2	
図学A	2		基礎有機化学Ⅰ	2	
基礎化学実験	2		基礎有機化学Ⅱ	2	
			力学統論	2	

* 必選等の詳細は入学年度の工学部履修要覧を参照してください。

(3) 現代社会適応科目群（情報系科目）情報基礎演習〔工学部〕について

2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定します。

工学部<電気電子工学科>

1. 履修登録単位数の上限について

平成26、27年度入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	確率論基礎	2	◎
微分積分学（講義・演義）A	3	◎	数理統計	2	◎
微分積分学（講義・演義）B	3	◎	数理論理学A	2	
線形代数学（講義・演義）A	3	◎	数理論理学B	2	
線形代数学（講義・演義）B	3	◎	熱力学	2	
物理学基礎論A	2	◎	統計物理学	2	◎
力学統論	2	◎	振動・波動論	2	○
物理学実験	2	◎	量子物理学	2	
基礎有機化学Ⅰ	2		解析力学	2	
基礎有機化学Ⅱ	2		特殊相対論 ※令和6年度より廃止	2	
基礎化学実験	2		基礎物理化学（熱力学）	2	
線形代数学統論	2	◎	基礎物理化学（量子論）	2	
関数論	2	◎	無機化学入門A	2	
微分積分学統論Ⅰ	2	◎	無機化学入門B	2	
微分積分学統論Ⅱ	2	◎			
情報基礎〔工学部〕*	2	◎	情報基礎演習〔工学部〕*	2 ※	◎

◎ 印は、選択履修することを要望する科目

○ 印は、履修することを勧める科目

* 印は、現代社会適応科目群

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

「情報基礎 [工学部]」、「情報基礎演習 [工学部]」については、電気電子工学科が指定するクラス外での履修は認めない。これら以外のクラス指定科目についても、指定されたクラスで受講すること。

(3) 外国語科目群について

英語Ⅱは平成30年度をもって廃止となりました。平成27年度以前学部入学者は英語リーディング及び英語ライティング・リスニング A・B を履修することはできません。卒業に必要な英語Ⅰ・Ⅱの単位を充足していない場合は、「全・英」の表示があるE1・E3科目を履修し、単位を修得してください。各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

工学部<理工化学科> ※令和5年度以前の学科名称は工業化学科

1. 履修登録単位数の上限について

平成26、27年度入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	基礎物理化学 (熱力学)	2	必
微分積分学 (講義・演義) A	3	◎	基礎有機化学Ⅰ	2	必
微分積分学 (講義・演義) B	3	◎	基礎有機化学Ⅱ	2	必
線形代数学 (講義・演義) A	3	◎	基礎化学実験	2	◎
線形代数学 (講義・演義) B	3	◎	微分積分学統論Ⅰ	2	
統計入門	2		微分積分学統論Ⅱ	2	
物理学基礎論 A	2	◎	熱力学	2	
物理学基礎論 B	2	◎	振動・波動論	2	
物理学実験	2	◎	力学統論	2	
基礎物理化学 (量子論)	2	必	解析力学	2	

必 は必修科目

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

* 基礎物理化学 (量子論)・(熱力学)、基礎有機化学Ⅰ・Ⅱを再履修する場合は、理工化学科 (令和5年度以前の学科名称は工業化学科) の前年度と同じクラスで履修することが望ましい。

工学部<情報学科>

1. 履修登録単位数の上限について

平成26、27年度入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群科目について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群

科目名	単位数	コース別必選等		科目名	単位数	コース別必選等	
		計算機	数理			計算機	数理
自然現象と数学	2	◎	◎	微分積分学統論Ⅰ	2	◎	◎
微分積分学 A	4	◎	◎	微分積分学統論Ⅱ	2	○	◎
微分積分学 B	4	◎	◎	線形代数学統論	2	○	◎
線形代数学 A	2	◎	◎	熱力学	2	○	○
線形代数学 B	2	◎	◎	振動・波動論	2	○	○
物理学基礎論 A	2	◎	◎	確率論基礎	2	◎	◎
物理学基礎論 B	2	◎	◎	数理統計	2	◎	◎
物理学実験	2	◎	◎	数理論理学 A	2	○	○
力学統論	2	◎	◎	数理論理学 B	2	○	○
情報と社会 * ※	2	必	○	情報基礎実践 *	2	◎	◎

必 は、必修科目

◎ 印は、特に選択履修することを要望する指定科目

○ 印は、指定科目

* 現代社会適応科目群

ただし、計算機科学コースでは平成 26 年度以前入学者について「確率論基礎」、「数理統計」を○指定とし、数理科学コースでは平成 25 年度入学者について「確率論基礎」、「数理統計」を○指定とします。

※ 「情報と社会Ⅰ」の単位未修得者は「情報と社会」を履修すること。